演習問題 3.1 次の各 V でベクトル空間 (部分空間) になるものはどれか。証明をつけて答えよ。

(1) 
$$V = \left\{ \boldsymbol{x} = \begin{pmatrix} x_1 \\ x_2 \\ x_3 \end{pmatrix} \in \mathbb{R}^3 \middle| x_1 - x_2 + x_3 = 0 \right\}$$

(2) 
$$V = \left\{ \boldsymbol{x} = \begin{pmatrix} x_1 \\ x_2 \\ x_3 \end{pmatrix} \in \mathbb{R}^3 \middle| x_1 - x_2 + x_3 = 1 \right\}$$

(3) 
$$V = \left\{ \boldsymbol{x} = \begin{pmatrix} x_1 \\ x_2 \\ x_3 \end{pmatrix} \in \mathbb{R}^3 \middle| x_1 + x_2 = 0, x_2 - 3x_3 = 0 \right\}$$

(4) 
$$V = \left\{ \boldsymbol{x} = \begin{pmatrix} x_1 \\ x_2 \\ x_3 \end{pmatrix} \in \mathbb{R}^3 \middle| x_1 + x_2 = 0 \right\}$$

(5) 
$$V = \left\{ \boldsymbol{x} = \begin{pmatrix} x_1 \\ x_2 \\ x_3 \end{pmatrix} \in \mathbb{R}^3 \middle| x_1 + x_2 = x_3 x_1 \right\}$$

(6) 
$$V = \left\{ \boldsymbol{x} = \begin{pmatrix} x_1 \\ x_2 \\ x_3 \end{pmatrix} \in \mathbb{R}^3 \middle| x_1 x_2 = x_2 x_3 \right\}$$

$$(7) V = \mathbb{R}^3$$

(8) 
$$V = \{0\}$$

(1) ベクトル空間になる。そのために定義 3.1 の (1),(2),(3) が成立することを示す。

$$(1)$$
  $\mathbf{0}=\left(egin{array}{c}0\\0\\0\end{array}
ight)$  に対し  $0-0+0=0$  となるので  $\mathbf{0}\in V$  である。よって  $V
eq \phi$ 

$$(2)~V$$
 の任意のベクトル  $x=\left(egin{array}{c} x_1\\x_2\\x_3 \end{array}
ight)$  ,  $y=\left(egin{array}{c} y_1\\y_2\\y_3 \end{array}
ight)$  に対し  $x_1-x_2+x_3=0$  および  $y_1-y_2+y_3=0$  が成立している。

$$x + y = \begin{pmatrix} x_1 + y_1 \\ x_2 + y_2 \\ x_3 + y_3 \end{pmatrix}$$

なので

$$(x_1 + y_1) - (x_2 + y_2) + (x_3 + y_3) = (x_1 - x_2 + x_3) + (y_1 - y_2 + y_3) = 0 + 0 = 0$$

となる。よって  $x + y \in V$  が成立する。

(3) V の任意のベクトル  $m{x}=\left(egin{array}{c} x_1 \ x_2 \ x_3 \end{array}
ight)$  対し  $x_1+x_2+x_3=0$  が成立している。任意の実数 lpha に

対し

$$\alpha \mathbf{x} = \left(\begin{array}{c} \alpha x_1 \\ \alpha x_2 \\ \alpha x_3 \end{array}\right)$$

なので

$$\alpha x_1 - \alpha x_2 + \alpha x_3 = \alpha (x_1 - x_2 + x_3) = \alpha 0 = 0$$

となる。よって  $\alpha x \in V$  が成立する。

(2) 以下の例のように定義 3.1 の (2) が成立しないのでベクトル空間ではない。 $m{x}=\begin{pmatrix} 1 \\ 0 \\ 0 \end{pmatrix}$  と

すると  $m{x}\in V$  である。 しかし  $m{x}+m{x}=\left(egin{array}{c}2\\0\\0\end{array}
ight)$  であり , 2-0+0 
eq 1 なので  $m{x}+m{x}
ot\in V$  となる。

(3) ベクトル空間になる。 そのために定義 3.1 の (1),(2),(3) が成立することを示す。

$$(1)$$
  $\mathbf{0}=\left(egin{array}{c} 0 \ 0 \ 0 \end{array}
ight)$  に対し  $0+0=0$  かつ  $0-3\cdot 0=0$  となるので  $\mathbf{0}\in V$  である。よって  $V
eq\emptyset$ 

$$(2)$$
  $V$  の任意のベクトル  $m{x}=\begin{pmatrix}x_1\\x_2\\x_3\end{pmatrix}$  ,  $m{y}=\begin{pmatrix}y_1\\y_2\\y_3\end{pmatrix}$  に対し  $x_1+x_2=0$  ,  $x_2-3x_3=0$  ,  $y_1+y_2=0$  ,  $y_2-3y_3=0$  が成立している。

$$\boldsymbol{x} + \boldsymbol{y} = \left(\begin{array}{c} x_1 + y_1 \\ x_2 + y_2 \\ x_3 + y_3 \end{array}\right)$$

なので

$$(x_1 + y_1) + (x_2 + y_2) = (x_1 + x_2) + (y_1 + y_2) = 0 + 0 = 0$$
  
 $(x_2 + y_2) - 3(x_3 + y_3) = (x_2 - 3x_3) + (y_2 - 3y_3) = 0 + 0 = 0$ 

となる。よって $x + y \in V$ が成立する。

$$(3)$$
  $V$  の任意のベクトル  $m{x}=\left(egin{array}{c} x_1 \ x_2 \ x_3 \end{array}
ight)$  に対し  $x_1+x_2=0$  および  $x_2-3x_3=0$  が成立している。

任意の実数  $\alpha$  に対し

$$\alpha \boldsymbol{x} = \left(\begin{array}{c} \alpha x_1 \\ \alpha x_2 \\ \alpha x_3 \end{array}\right)$$

なので

$$\alpha x_1 + \alpha x_2 = \alpha(x_1 + x_2) = \alpha 0 = 0$$
  
 $\alpha x_2 - 3\alpha x_3 = \alpha(x_2 - 3x_3) = \alpha 0 = 0$ 

となる。よって  $\alpha x \in V$  が成立する。

(4) ベクトル空間になる。そのために定義 3.1 の (1),(2),(3) が成立することを示す。

$$(1)$$
  $\mathbf{0}=\left(egin{array}{c}0\\0\\0\end{array}
ight)$  に対し  $0+0=0$  となるので  $\mathbf{0}\in V$  である。 よって  $V
eq \emptyset$ 

$$(2)~V$$
 の任意のベクトル  $m{x}=\left(egin{array}{c} x_1 \ x_2 \ x_3 \end{array}
ight)$  ,  $m{y}=\left(egin{array}{c} y_1 \ y_2 \ y_3 \end{array}
ight)$  に対し  $x_1+x_2=0$  ,  $y_1+y_2=0$  が成立している。

$$\mathbf{x} + \mathbf{y} = \begin{pmatrix} x_1 + y_1 \\ x_2 + y_2 \\ x_3 + y_3 \end{pmatrix}$$

なので

$$(x_1 + y_1) + (x_2 + y_2) = (x_1 + x_2) + (y_1 + y_2) = 0 + 0 = 0$$

となる。よって $x + y \in V$ が成立する。

$$(3)$$
  $V$  の任意のベクトル  $m{x}=\left(egin{array}{c} x_1 \\ x_2 \\ x_3 \end{array}
ight)$  に対し  $x_1+x_2=0$  が成立している。任意の実数  $lpha$  に対し

$$\alpha \mathbf{x} = \left(\begin{array}{c} \alpha x_1 \\ \alpha x_2 \\ \alpha x_3 \end{array}\right)$$

なので

$$\alpha x_1 + \alpha x_2 = \alpha(x_1 + x_2) = \alpha 0 = 0$$

となる。よって  $\alpha x \in V$  が成立する。

(5) 以下の例のように定義の (2) が成立しないのでベクトル空間ではない。 $oldsymbol{x}=\left(egin{array}{c}1\\0\\1\end{array}
ight)$  とする

と 
$$m{x}\in V$$
 である。 しかし  $m{x}+m{x}=\left(egin{array}{c}2\\0\\2\end{array}
ight)$  であり ,  $2+0
eq 2 imes 2$  なので  $m{x}+m{x}
otin V$  となる。

(6) 以下の例のように定義の
$$(2)$$
が成立しないのでベクトル空間ではない。 $oldsymbol{x}_1=\left(egin{array}{c}1\\1\\1\end{array}
ight)$  ,  $oldsymbol{x}_2=$ 

$$\left(egin{array}{c}1\0\0\end{array}
ight)$$
 とすると  $m{x}_1,m{x}_2\in V$  である。 しかし  $m{x}_1+m{x}_2=\left(egin{array}{c}2\1\1\end{array}
ight)$  であり ,  $2 imes1 imes1 imes1$  なので

 $x_1 + x_2 \notin V$  となる。

- (7) 勿論ベクトル空間になる。3 項数ベクトルの和は3 項数ベクトルであるし,3 項数ベクトルと実数倍も3 項数ベクトルになる。また  $\mathbf{0}=\begin{pmatrix}0\\0\\0\end{pmatrix}$  も3 項数ベクトルである。よって定義の
- (1),(2),(3) が成立する。
- (8) ベクトル空間になる。そのために定義 3.1 の (1),(2),(3) が成立することを示す。

$$(1) \mathbf{0} = \begin{pmatrix} 0 \\ 0 \\ 0 \end{pmatrix} \in V$$
なので  $V \neq \emptyset$ 

$$(2)~V$$
 の任意のベクトル  $m{x}=\left(egin{array}{c} x_1 \ x_2 \ x_3 \end{array}
ight)$  ,  $m{y}=\left(egin{array}{c} y_1 \ y_2 \ y_3 \end{array}
ight)$  に対し  $m{x}=m{0}$  ,  $m{y}=m{0}$  となっている。 $(V$  は

0 のみを元としているから)

$$\boldsymbol{x} + \boldsymbol{y} = \left(\begin{array}{c} 0+0\\0+0\\0+0\end{array}\right) = \left(\begin{array}{c} 0\\0\\0\end{array}\right)$$

なので  $x + y \in V$  が成立する。

$$(3)$$
  $V$  の任意のベクトル  $m{x}=\left(egin{array}{c} x_1 \ x_2 \ x_3 \end{array}
ight)$  と任意の実数  $lpha$  に対し  $m{x}=m{0}$  なので

$$\alpha \boldsymbol{x} = \begin{pmatrix} \alpha 0 \\ \alpha 0 \\ \alpha 0 \end{pmatrix} = \begin{pmatrix} 0 \\ 0 \\ 0 \end{pmatrix}$$

なので  $\alpha x \in V$  が成立する。

演習問題  ${f 3.2}$  次の各 V がベクトル空間になる事を示せ。

$$(1) V = \left\{ \mathbf{x} = \begin{pmatrix} x \\ y \\ z \\ w \end{pmatrix} \in \mathbb{R}^4 \middle| x - y + z - w = 0 \right\}$$

$$(2) V = \left\{ \mathbf{x} = \begin{pmatrix} x \\ y \\ z \\ w \end{pmatrix} \in \mathbb{R}^4 \middle| x + y - z + w = 0, x - y + z - w = 0 \right\}$$

$$(3) V = \left\{ \begin{array}{l} \boldsymbol{x} = \begin{pmatrix} p \\ q \\ r \\ s \\ t \end{array} \right\} \in \mathbb{R}^5 \middle| p + q + r + s + t = 0, p - q + r = 0 \right\}$$

(1) ベクトル空間であることを示すために定義 3.1 の (1),(2),(3) が成立することを示す。

$$(1)$$
  $\mathbf{0}=\left(egin{array}{c} 0 \ 0 \ 0 \ 0 \end{array}
ight)$  に対し  $0-0+0-0=0$  となるので  $\mathbf{0}\in V$  である。よって  $V
eq \phi$ 

$$(2)$$
  $V$  の任意のベクトル  $m{x}=\left(egin{array}{c} x_1 \ x_2 \ x_3 \ x_4 \end{array}
ight)$  ,  $m{y}=\left(egin{array}{c} y_1 \ y_2 \ y_3 \ y_4 \end{array}
ight)$  に対し  $x_1-x_2+x_3-x_4=0$  および

 $y_1 - y_2 + y_3 - y_4 = 0$  が成立している。

$$m{x} + m{y} = \left( egin{array}{c} x_1 + y_1 \ x_2 + y_2 \ x_3 + y_3 \ x_4 + y_4 \end{array} 
ight)$$

なので

$$(x_1 + y_1) - (x_2 + y_2) + (x_3 + y_3) - (x_4 + y_4) = (x_1 - x_2 + x_3 - x_4) + (y_1 - y_2 + y_3 - y_4)$$
$$= 0 + 0 = 0$$

となる。よって $x+y \in V$ が成立する。

$$(3)~V$$
 の任意のベクトル  $m{x}=\left(egin{array}{c} x_1 \\ x_2 \\ x_3 \\ x_4 \end{array}
ight)$  に対し  $x_1-x_2+x_3-x_4=0$  が成立している。任意の実数

 $\alpha$  に対し

$$lpha oldsymbol{x} = \left(egin{array}{c} lpha x_1 \ lpha x_2 \ lpha x_3 \ lpha x_4 \end{array}
ight)$$

なので

$$\alpha x_1 - \alpha x_2 + \alpha x_3 - \alpha x_4 = \alpha (x_1 - x_2 + x_3 - x_4)$$
  
=  $\alpha 0 = 0$ 

となる。よって  $\alpha x \in V$  が成立する。

(2) ベクトル空間であることを示すために定義 3.1 の (1),(2),(3) が成立することを示す。

$$(1)$$
  $\mathbf{0}=egin{pmatrix} 0 \\ 0 \\ 0 \\ 0 \end{pmatrix}$  に対し  $0+0-0+0=0$  ,  $0-0+0-0=0$  となるので  $\mathbf{0}\in V$  である。よって

 $V \neq \emptyset$ 

$$(2)~V$$
 の任意のベクトル  $m{x}=\left(egin{array}{c} x_1 \\ x_2 \\ x_3 \\ x_4 \end{array}
ight)$  ,  $m{y}=\left(egin{array}{c} y_1 \\ y_2 \\ y_3 \\ y_4 \end{array}
ight)$  に対し  $x_1+x_2-x_3+x_4=0$  ,  $x_1-x_2+x_3+x_4=0$  ,  $x_1-x_2+x_3+x_4=0$ 

 $x_3-x_4=0$  ,  $y_1+y_2-y_3+y_4=0$  ,  $y_1-y_2+y_3-y_4=0$  が成立している。

$$m{x} + m{y} = \left( egin{array}{c} x_1 + y_1 \ x_2 + y_2 \ x_3 + y_3 \ x_4 + y_4 \end{array} 
ight)$$

なので

$$(x_1 + y_1) + (x_2 + y_2) - (x_3 + y_3) + (x_4 + y_4) = (x_1 + x_2 - x_3 + x_4) + (y_1 + y_2 - y_3 + y_4)$$

$$= 0 + 0 = 0$$

$$(x_1 + y_1) - (x_2 + y_2) + (x_3 + y_3) - (x_4 + y_4) = (x_1 - x_2 + x_3 - x_4) + (y_1 - y_2 + y_3 - y_4)$$

$$= 0 + 0 = 0$$

となる。よって  $x+y \in V$  が成立する。

$$(3)~V$$
 の任意のベクトル  $m{x}=\left(egin{array}{c} x_1 \ x_2 \ x_3 \ x_4 \end{array}
ight)$  に対し  $x_1+x_2-x_3+x_4=0$  ,  $x_1-x_2+x_3-x_4=0$  が成

立している。任意の実数  $\alpha$  に対し

$$lpha oldsymbol{x} = \left( egin{array}{c} lpha x_1 \ lpha x_2 \ lpha x_3 \ lpha x_4 \end{array} 
ight)$$

なので

$$\alpha x_1 + \alpha x_2 - \alpha x_3 + \alpha x_4 = \alpha (x_1 + x_2 - x_3 + x_4)$$

$$= \alpha 0 = 0$$

$$\alpha x_1 - \alpha x_2 + \alpha x_3 - \alpha x_4 = \alpha (x_1 - x_2 + x_3 - x_4)$$

$$= \alpha 0 = 0$$

となる。よって  $\alpha x \in V$  が成立する。

(3) ベクトル空間であることを示すために定義 3.1 の (1),(2),(3) が成立することを示す。

$$(1)$$
  $\mathbf{0}=egin{pmatrix}0\\0\\0\\0\end{pmatrix}$ に対し $0+0+0+0+0=0$ ,  $0-0+0=0$  となるので  $\mathbf{0}\in V$  である。よって

 $V \neq \emptyset$ 

$$(2)$$
  $V$  の任意のベクトル  $m{x}=\left(egin{array}{c} x_1 \ x_2 \ x_3 \ x_4 \ x_5 \end{array}
ight)$  ,  $m{y}=\left(egin{array}{c} y_1 \ y_2 \ y_3 \ y_4 \ y_5 \end{array}
ight)$  に対し  $x_1+x_2+x_3+x_4+x_5=0$  ,

 $x_1-x_2+x_3=0$  ,  $y_1+y_2+y_3+y_4+y_5=0$  ,  $y_1-y_2+y_3=0$  が成立している。

$$\mathbf{x} + \mathbf{y} = \begin{pmatrix} x_1 + y_1 \\ x_2 + y_2 \\ x_3 + y_3 \\ x_4 + y_4 \\ x_5 + y_5 \end{pmatrix}$$

なので

$$(x_1 + y_1) + (x_2 + y_2) + (x_3 + y_3) + (x_4 + y_4) + (x_5 + y_5) = (x_1 + x_2 - x_3 + x_4 + x_5) + (y_1 + y_2 - y_3 + y_4 + y_5)$$

$$= 0 + 0 = 0$$

$$(x_1 + y_1) - (x_2 + y_2) + (x_3 + y_3) = (x_1 - x_2 + x_3) + (y_1 - y_2 + y_3)$$

となる。よって $x+y\in V$ が成立する。

$$(3)~V$$
 の任意のベクトル  $m{x}=\left(egin{array}{c} x_1 \ x_2 \ x_3 \ x_4 \ x_5 \end{array}
ight)$  に対し  $x_1+x_2+x_3+x_4+x_5=0$  ,  $x_1-x_2+x_3=0$  が成

立している。任意の実数  $\alpha$  に対し

$$\alpha \mathbf{x} = \begin{pmatrix} \alpha x_1 \\ \alpha x_2 \\ \alpha x_3 \\ \alpha x_4 \\ \alpha x_5 \end{pmatrix}$$

なので

$$\alpha x_1 + \alpha x_2 - \alpha x_3 + \alpha x_4 + \alpha x_5 = \alpha (x_1 + x_2 - x_3 + x_4 + x_5)$$

$$= \alpha 0 = 0$$

$$\alpha x_1 - \alpha x_2 + \alpha x_3 = \alpha (x_1 - x_2 + x_3)$$

$$= \alpha 0 = 0$$

となる。よって  $\alpha x \in V$  が成立する。

演習問題  ${\bf 3.3}$   $\mathbb{R}^n$  の部分集合 V が (2) 任意のベクトル  ${\bf v}_1, {\bf v}_2 \in V$  に対し  ${\bf v}_1 + {\bf v}_2 \in V$ ,及び (3) 任意の  $\alpha \in \mathbb{R}$  と任意のベクトル  ${\bf v} \in V$  に対し  $\alpha {\bf v} \in V$  を満たすとする。このとき (1)  $V \neq \emptyset$  という条件と (1')  ${\bf 0} \in V$  という条件は同値である事,すなわち (1) は (1') であるための必要十分上である事を示せ。

V が零ベクトル  ${\bf 0}$  を含めば空集合ではない。よって  $(1')\Longrightarrow (1)$  は成立している。次に  $(1)\Longrightarrow (1')$  を示す。 $V\neq\emptyset$  より,あるベクトル  $x_1$  に対し  $x_1\in V$  となる。(3) が成立しており,0 は実数なので  $0x_1\in V$  だが, $0x_1={\bf 0}$  なので  $0\in V$  が成立する。ここでは (3) のみを用いた。即ち  $(1)+(3)\Longrightarrow (1')$  を示した。同様に  $(1)+(2)\Longrightarrow (1')$  も示すことができる。

演習問題 3.4 ベクトル空間 V と V のベクトル  $x_1,\ldots,x_k$  について  $\langle x_1,\ldots,x_k \rangle$  が V の部分空間になる事を示せ。

- (1)  $\mathbf{0} = 0\mathbf{x}_1 + \cdots + 0\mathbf{x}_k \in V$  なので  $V \neq \emptyset$  である。
- (2) V の任意のベクトル x , y に対し実数  $lpha_1,\ldots,lpha_k$  および実数  $eta_1,\ldots,eta_k$  が存在して

$$\mathbf{x} = \alpha_1 \mathbf{x}_1 + \dots + \alpha_k \mathbf{x}_k, \quad \mathbf{y} = \beta_1 \mathbf{x}_1 + \dots + \beta_k \mathbf{x}_k$$

と書ける。

$$\mathbf{x} + \mathbf{y} = (\alpha_1 + \beta)\mathbf{x}_1 + \dots + (\alpha_k + \beta)\mathbf{x}_k$$

なので  $x + y \in V$  が成立する。

(3) V の任意のベクトル x と任意の実数  $\alpha$  に対し実数  $\alpha_1,\dots,\alpha_k$  が存在して  $x\alpha_1x_1+\dots+\alpha_kx_k$  となっている。

$$\alpha \mathbf{x} = \alpha \alpha_1 \mathbf{x}_1 + \dots + \alpha \alpha_k \mathbf{x}_k$$

なので  $\alpha x \in V$  となる。

演習問題 3.5 上の  $x_1, x_2$  に対し  $x_1, x_2$  が張る平面上の点を表す位置ベクトル y に対しある実数 a, b が存在して  $y = ax_1 + bx_2$  となることを示せ。

 $\{tx_1 \mid t \in \mathbb{R}\}$  は原点を通る  $x_1$  と同じ方向の直線を表している。この直線は  $x_1$  および  $x_2$  が張る平面上にある。 $\{tx_2 \mid t \in \mathbb{R}\}$  についても同様である。ベクトル y を位置ベクトルと考えたとき点 P を表してるとする。P を通り  $\{tx_2 \mid t \in \mathbb{R}\}$  と平行な直線と直線  $\{tx_1 \mid t \in \mathbb{R}\}$  の交点を  $P_1$  とし  $\overrightarrow{\mathrm{OP}_1} = y_1$  とする。このときある実数 a が存在して  $y_1 = ax_1$  となっている。また P を通り

 $\{\,tx_1\,|\,t\in\mathbb{R}\,\}$  と平行な直線と直線  $\{\,tx_2\,|\,t\in\mathbb{R}\,\}$  の交点を  $P_2$  とし  $\overrightarrow{\mathrm{OP}_2}=y_2$  とする。このときある実数 b が存在して  $y_2=bx_2$  となっている。また  $y=y_1+y_2$  が成立する。よって

$$y = y_1 + y_2$$

$$= ax_1 + bx_2$$

が成立している。

演習問題 3.6 次のベクトル空間に対し、それを生成するベクトルの組を1組求めよ。

(1) 
$$V = \left\{ \boldsymbol{x} = \begin{pmatrix} x_1 \\ x_2 \\ x_3 \end{pmatrix} \in \mathbb{R}^3 \middle| x_1 + x_2 = 0 \right\}$$

(3) 
$$V = \left\{ \begin{array}{c} x \\ y \\ z \\ w \end{array} \right\} \in \mathbb{R}^4 \left| \begin{array}{c} x \\ x - y + z - w = 0 \end{array} \right\}$$

$$(4) V = \left\{ x = \begin{pmatrix} x \\ y \\ z \\ w \end{pmatrix} \in \mathbb{R}^4 \middle| x + y - z + w = 0, x - y + z - w = 0 \right\}$$

(5) 
$$V = \left\{ \begin{array}{c} x = \begin{pmatrix} p \\ q \\ r \\ s \\ t \end{array} \right\} \in \mathbb{R}^5 \mid p+q+r+s+t = 0, p-q+r = 0 \right\}$$

$$egin{aligned} egin{pmatrix} x_1 \ x_2 \ x_3 \end{pmatrix} \in V$$
 とすると  $x_1+x_2=0$  が成立しているので

$$\boldsymbol{x} = \begin{pmatrix} x_1 \\ x_2 \\ x_3 \end{pmatrix} = \begin{pmatrix} -x_2 \\ x_2 \\ x_3 \end{pmatrix} = x_2 \begin{pmatrix} -1 \\ 1 \\ 0 \end{pmatrix} + x_3 \begin{pmatrix} 0 \\ 0 \\ 1 \end{pmatrix}$$

となる。よって
$$\left(egin{array}{c} -1 \\ 1 \\ 0 \end{array}
ight)$$
, $\left(egin{array}{c} 0 \\ 0 \\ 1 \end{array}
ight)$ は $V$ を生成する。

$$egin{aligned} egin{pmatrix} x_1 \ x_2 \ x_3 \end{pmatrix} \in V$$
 とすると  $x_1-x_2+x_3$  ,  $x_1+x_2=0$  が成立しているので

$$x_2 = -x_1, \quad x_3 = -2x_1$$

と x1 を用いて他を表す事ができる。よって

$$\mathbf{x} = \begin{pmatrix} x_1 \\ x_2 \\ x_3 \end{pmatrix} = \begin{pmatrix} x_1 \\ -x_1 \\ -2x_1 \end{pmatrix} = x_1 \begin{pmatrix} 1 \\ -1 \\ -2 \end{pmatrix}$$

となる。よって $\left(egin{array}{c}1\\-1\\-2\end{array}
ight)$ はVを生成する。

$$egin{aligned} egin{pmatrix} x \ y \ z \ w \end{pmatrix} \in V$$
 とすると  $x-y+z-w=0$  が成立しているので  $x=y-z+w$  なので

$$\boldsymbol{x} = \begin{pmatrix} y - z + w \\ y \\ z \\ w \end{pmatrix} = y \begin{pmatrix} 1 \\ 1 \\ 0 \\ 0 \end{pmatrix} + z \begin{pmatrix} -1 \\ 0 \\ 1 \\ 0 \end{pmatrix} + w \begin{pmatrix} -1 \\ 0 \\ 0 \\ 1 \end{pmatrix}$$

となる。よって
$$\begin{pmatrix}1\\1\\0\\0\end{pmatrix}$$
, $\begin{pmatrix}-1\\0\\1\\0\end{pmatrix}$ , $\begin{pmatrix}-1\\0\\0\\1\end{pmatrix}$ は $V$ を生成する。

(4) 
$$m{x}=\left(egin{array}{c} x \\ y \\ z \\ w \end{array}
ight)\in V$$
 とすると  $x+y-z+w=0$  ,  $x-y+z-w=0$  が成立しているので

$$x = 0, \quad y = z - w$$

とz,wを用いて他を表す事ができる。よって

$$\boldsymbol{x} = \begin{pmatrix} 0 \\ z - w \\ z \\ w \end{pmatrix} = z \begin{pmatrix} 0 \\ 1 \\ -1 \\ 0 \end{pmatrix} + w \begin{pmatrix} 0 \\ -1 \\ 0 \\ 1 \end{pmatrix}$$

となる。よって
$$\begin{pmatrix}0\\1\\-1\\0\end{pmatrix}$$
, $\begin{pmatrix}0\\-1\\0\\1\end{pmatrix}$ は $V$ を生成する。

(5) 
$$m{x}=egin{pmatrix} p \\ q \\ r \\ s \\ t \end{pmatrix}\in V$$
 とすると  $p+q+r+s+t=0$  ,  $p-q+r=0$  が成立しているので

$$p = q - r$$
,  $t = -2q - s$ 

と q , r , s を用いて他を表す事ができる。よって

$$m{x} = \left( egin{array}{c} q - r \\ q \\ r \\ s \\ -2q - s \end{array} 
ight) = q \left( egin{array}{c} 1 \\ 1 \\ 0 \\ 0 \\ -2 \end{array} 
ight) + r \left( egin{array}{c} -1 \\ 0 \\ 1 \\ 0 \\ 0 \end{array} 
ight) + s \left( egin{array}{c} 0 \\ 0 \\ 0 \\ 1 \\ -1 \end{array} 
ight)$$

となる。よって
$$\begin{pmatrix}1\\1\\0\\0\\-2\end{pmatrix}$$
, $\begin{pmatrix}-1\\0\\1\\0\\0\end{pmatrix}$ , $\begin{pmatrix}0\\0\\0\\1\\-1\end{pmatrix}$ は $V$ を生成する。